

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
実用国語	3	3		ちくま評論入門（筑摩書房）

**到達目標**

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。

評価の観点	評価の内容
a 関心・意欲・態度	・進んで表現することによって国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を身に付けようとしている。
b 「書く」能力	・目的や相手に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書いたり、論理の構成や展開を工夫したりし、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめようとしている。
c 「読む」能力	・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりしている。
d 知識・理解	・文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割を理解している。

**評価の方法**

各課題の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。

**年間指導計画**

前期				後期									
月	予定 時数	学習内容	評価の観点				月	予定 時数	学習内容	評価の観点			
			a	b	c	d				a	b	c	d
4	1 1 1 1	進路希望アンケート 小論文の基本 原稿用紙の使い方・書き言葉 文章作成の基本	○	○			10	18	4 参考文献を読んで小論文を作成する 課題 ⑧「日本文化と西洋文化の相違点」 ⑨「グローバル化が日本文化を崩壊させる」 ⑩「古い時代の日本文化を学ぶ意義」		○	○	○
5	15	1 参考文献の要点整理から要約 課題 ①「成人」 ②「社会性」			○	○	11				○	○	○
6	12	2 参考文献に対する要約&意見					12	26	副教材の中から作品を任意に選び意見論文を作成する	○	○	○	○
7	18	3 インターネットを利用してデータを加える 課題 ③「大規模災害」 ④「環境問題」 ⑤「スマートフォンの普及と問題点」 ⑥「現代人とストレス」 ⑦「コミュニケーションを取るメリットと重要性」		○	○	○	1						
8	6	自己推薦文の書き方等	○	○									
9	6	志望理由書の書き方等	○	○									
							計	105					

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

**履修上および学習上の留意事項**

- ・教員の指示に応じて教材を忘れずに持ってくること。
- ・国語はあらゆる学習の基礎となることに十分留意し、日々の授業に集中して取り組むこと。
- ・生涯にわたって使う国語の運用能力の向上を目指すこと。
- ・授業に際しては予習・復習を常とし、けっして受動的な態度で臨まないこと。

